

R I 第 2820 地区

# 水海道ロータリークラブ



CELEBRATE  
ROTARY

100 Years

2004-05 年度 国際ロータリー会長  
グレン E. エステス・シニア

NO. 2 0 2 5

例会 2005 年 2 月 16 日(水)

## 本日のプログラム

点 鐘  
ロータリーソング  
ビジター紹介  
出席報告  
SAA 報告  
諸 報 告  
幹事報告  
会長挨拶

外部卓話 門馬水海道警察署長

冬の緒「窮地に勝つために」

次回 3月2日(水) 予告

外部卓話

ローテックス 菅谷心一様

鈴木・大串年度テーマ

『原点に戻ろう！』

そしてさらなる飛躍を！！』

2月の会長ポイントメッセージ

世界を見つめよう！

私達はいかに恵まれているかが分かるだろう！！

2月は世界理解推進月間です



米山奨学生 蔡 亦竹さん

2004～2005 年度

会 長 鈴 木

豊

幹 事 大 串

卓

例 会 場 ・ 例 会 日

事 務 所

〒303-0023 茨城県水海道市宝町 2790

〒303-0023 茨城県水海道市宝町 3386

常陽銀行水海道支店内 3F

釜久ビル 3F

毎週 水曜日 12:30～13:30

0297-22-1251

0297-30-0875

Fax0297-30-0876

E-mail [mitsu-rc@lapis.plala.or.jp](mailto:mitsu-rc@lapis.plala.or.jp)

URL <http://kinuyou.com/rc/>

本例会でのおもな事項

\* 会長挨拶

\* 外部卓話

米山奨学生 蔡 亦竹さん

ビジター紹介

米山奨学生 蔡 亦竹さん

川辺春雄様 (つくばサンライズRC)

鈴木一雄様 (つくばサンライズRC)

幹事報告 (大串 卓幹事)

週報受理 竜ヶ崎RC、藤代RC、石岡87RC

例会変更通知受理 竜ヶ崎RC 2月15日(火) 2月19日(土)IMに変更

龍ヶ崎中央RC 2月11日(金) 休会

2月18日(金) 2月19日(土)IMに変更

藤代RC 2月21日(月) 2月19日(土)IMに変更

3月7日(月) 3月6日(日)グリーンパレス藤代 創立10周年記念例会

つくばサンライズロータリークラブより 認証状伝達式のご案内

日 時:平成17年5月15日(日)

記念事業

『地球のステージ』公演 9:30 - 11:30

於:つくば国際会議場多目的ホール

~人間の奉仕魂を揺さぶる、新しいタイプのコンサートステージ~

\* 出席の方は9時にホテルグランド東雲の駐車場において  
下さい。バスで会場までお送りします。

認証状伝達式 於:ホテルグランド東雲

登録 12:00 -

式典 12:30 - 14:00

祝宴 14:20 - 16:00

登録料 1名 1万円

会長挨拶 (鈴木 豊会長)

こんにちは。米山奨学生の蔡さん、つくばサンライズRCの川辺様、鈴木様、ようこそいらっしゃいました。会員一同心より歓迎申し上げます。

2月19日に於ける、IMのテーマ「会員増強をして、ロータリーを楽しもう!!」サブテーマ“全てのロータリークラブが毎年10%増強を!”ということで、開催されることになっております。そして、パネラーとして、先週もお話させていただきましたが、当クラブから松坂会員が登壇することに決まっております。適任者が会員増強委員長になったなあと感じております。なぜ、毎年毎年ガバナーは最重要テーマとしてこの件を取り上げるかといいますと、過去8年間で500名の会員減少があり、危機的現象であります。前も述べましたが、ロータリーにステイタスが求められなくなってしまったのか、魅力が無くなってしまったのか、経済事情なのか、ボランティア精神が多様化してきたのか、その原因は分かりませんが、このような現象をいかに食い止めるか、いかにしたら会員が増やせるか、また退会者を無くせるか、また別な意味では質より量という人も多数見受けられる現実に我々は真剣に取り組んでいかなければなりません。マーケティングで言う「1:5の法則」によると新しい顧客の獲得コストは、顧客維持コストの5倍。まずは増強よりも退会者を無くすことのほうが楽です。そのためには、まさしくロータリーを魅力あるものにしなければなりません。

外部卓話 米山奨学生 蔡 亦竹さん

先ず、今日は水海道ロータリークラブの例会という素晴らしい場で卓話をさせて頂いて、誠に光栄だと存



じております。小島先生に適当に話してくれと言われましたが、実は今日まで私は自分が何を喋ればいいのかと、相当迷っていました。そして、もし本当に適当に喋ってしまったら、後になって隅屋大先生からのしごきが非常に怖いです。皆様ご存知のように、私は外国人であり、長年日本について勉強してきましたが、日本語は一向上手くなりません。なのにロータリーの米山奨学金に恵まれて、その奨学生になっています。情けない話ですが、同時に自分はなんと幸せ者だと痛感しています。日本に憧れて、より日本の文化を知るために、私は南国から日いつるところに来ました。現在なんとなく落ち着きましたが、最初来た時にやはり少なからずカルチャーショックを受けました。そのため、今日はこの場を借りてその体験を少し話したいと思います。私は中学生の頃から、いいえ、厳密に言うと小学生の高学年の頃から日本に興味を持ち始めました。そのきっかけは、本当に語るに足らずものでした。なぜなら、その当時は日本に対する認識は、漫画と志村けんの爆笑番組でした。ご存知の通り、台湾は親日と言われる程日本に好感を持っている国です。日本の統治時代を経た年寄りたちにとって、それはむしろ親近感に近い感情です。その環境の中に、政府がどんなに公式的には日本文化を禁じていても、民衆は依然としてカラオケで演歌を歌ったり、ビデオ屋で時代劇とバラエティ番組を借りたりして、日本文化を摂取していました。このような国で育った私も、自然的に日本には好奇心を持つようになりました。そのため、私は専門学校に入学するとき、日本語を専攻することにしました。しかし、当時の私は甘かったのです。どうせ日本語なんて漢字を使っている中国のコピーのようなものだ。日本の文化なんか全部中華文化のパクリだと思いました。そうだったら、日本文化なんか本家のオレにとってお手の物じゃないかと自惚れてしまいました。大学まで、環境のせいもあって、私が考えを変えることはありませんでした。その後、交換留学の奨学金を貰いまして、初めて日本の土を踏みました。その瞬間から、私の世界とその訳分からない自信は悉く粉々にされました。まず、空港に着いた時でした。瞬間、私は自分がもしかして航空機を間違えて韓国にでも来たかと思いました。周りの人々が喋っている言葉は、全くと言えるほど難解でした。私が台湾で七年間鍛えた日本語は、空港の入国ロビーで完璧にノックアウトされました。学校で覚えた日本語はまったく会話の場では役に立ちませんでした。怪しい日本語を操って、入管の役員に凄く怪しまれながら、私は同行の先輩と日本に入国しました。当時お世話になる大学の人が車を出して迎えに来てくれましたが、その車に乗っていた時も、前に座っていた二人の会話内容が全く分かりませんでした。後の話ですが、その時前の二人の先生と生徒は、ただ晩御飯の場所を決める話をしていたそうです。しかし、当時の私とその先輩はただただ恐怖の二文字あるのみでした。前の二人は何を謀っているのか、これから俺達を何処に連れて行くのかという感じでした。余り笑えない話ですが、その時の私は、本当にあの北の国に拉致された人達の気持ちが分かるという気がしました。周り5キロ以内に外国人一人もいない宿舎に置かれて、私の悪戦苦闘が始まりました。最初のカルチャーショックのせいで、そして私のつまらないプライドもあって、わたしは極端に寡黙になりました。レストランに行くことが怖くて、カップラーメンでご飯を済ませようとしたのですが、お湯の場所が分からなくて、聞く勇気もないため、水で出来た、人生の中でも最高に不味いカップラーメンを食べました。ろくに日本語の説明が読めないため、コンビニでシャンプーを買ってきて使いましたが、泡立てが悪いなと思いましたら、買って来たのはリンスでした。そのまま日本で生活を終えて、日本なんて最悪の国だという怨念を抱いて帰国しようでしたが、幸いに、当時の日本人の良友たちが友情の手を伸ばして、私に日本のいろいろを教えてくださいました。思えば、本当に手取り足取りでした。そのため、私は日本の素晴らしさをだんだん理解してきて、そして同時に他の民族に対する認識の不十分は如何なる誤解を生み出すことを痛感しました。その時から、私は台湾に日本を伝えることを自分の使命にするようにしました。そして、一人の台湾人として、日本で台湾に恥をかかせないように頑張ることを誓いました。このような経緯があって、私はその後日本語だけではなく、日本文化を極めようと思うようになりました。日本という国は、私が思うように甘くありません。志村けんとギター侍だけではなく、万葉集も楠木正成もあります。この見た目がすごく台湾に似ている国は、まったく台湾にない素晴らしい文化と歴史を持っています。そして、私の次の

世代に二度と私のように悲惨な体験をさせないように、日本文化の研究者を志しました。当時の日本人の友人がいなければ、現在の私はいないでしょう。現在彼らは私と無二の親友になり、その中の一人は私の紹介で、当時一緒に日本に来た先輩と結婚して、台湾人の婿殿になりました。そして、ロータリークラブのお蔭で、私は月曜日に口頭試問を終えて、修士になります。さすが今は、その人達の前で彼らに感謝するなんて気持ち悪くて出来ませんが、その時の彼らがその交流の第一歩を踏み出さなければ、私の一生はそのまま変わることもなく、自分の国でどうでもよく自分の生涯を終えるのでしょう。国際交流というものは、誰でもその重要性を知りながら、なかなか難しいものです。何故なら、全く文化の違う民族同士が接する時に、新鮮感は勿論ありますが、同時に不快感も避けられません。あくまでも違う環境で違う価値観を抱いて違う生活スタイルで生きてきた人間同士です。そのため、自分の考えだけが正しいという先入観を死守すれば、何処で外国人と交流しようとしても、結局はギクシャクを生むだけです。ですから、暫く我を忘れることも非常に大事だと思います。前の私には、これが足りませんでした。特に中国系の人達は、よく自分の文化は日本の文化の母体だと錯覚して、精神的に日本の独特な部分を認めない傾向があります。私も常に自分にそうならないように聞かせています。中華文化から沢山の要素を摂取したとはいえ、日本には、我々にはない優れたものが沢山あります。漢字を使っているから中国のコピーだと言えば、アルファベットを使っているドイツ語、スペイン語、イタリア語は全部英語のコピーであることとなります。そんな暴言を言えば、忽ち世界を敵にしてみせます。とは言え、完全に自分を忘れて、ただ相手に合わせようとするれば、それも国際交流の意義を無くす事になります。何故なら、相手は我々から何も学べないことになるからです。述べてきたように、国際交流は難しいものです。しかし、私はあえてこれからも頑張りたいと思います。私の良友たちに報いるだけではなく、貴重な時間と金銭を、私のような不出来な者に費やしてくれるロータリーの皆様のためでもあります。将来帰国すれば、教職を志願したい私ですが、今まで、日本の方々は私に大事なことを教えてくれました。これからは、私がお返しする番になります。交流の大事さ、そして人間同士の触れ合いの有り難さを、私の次の世代、そしてこれから台湾に来る日本人の方々に、出来るだけお手伝いしたいと思います。つまらない話でしたが、皆様お聞きくださいまして有難うございました。

**出席報告** (角田雅宣委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メーク
50名	32名	18名	1名	12名

出席率 90.00%

**ニコニコボックス** (青木正弘SAA)

チャーターナイト宜しく。 川辺様・鈴木様(つくばサンライズRC)

欠席しました。節分祭も終わり一段落ですが、これからも欠席が続きます。 福田会員

無断欠席申し訳ございません。本日も早退させていただきます。 田上会員

今日の卓話、蔡 亦竹さんです。宜しくお願い致します。 小島会員

風邪などに気をつけてください。 大串会員

つくばサンライズRCの皆様ご苦勞様です。健全な気持ちで、この寒い冬を乗り切りましょう!!

鈴木(豊)会員

職業奉仕のため休みが続きました。 青木(正)会員

早退します。 鈴木(邦)・登坂・染谷(昭)・山野井 各会員

例会欠席しました。 五木田・横山・染谷(昭) 各会員

入金計 ¥39,000 累計 ¥1,669,000

会報委員会 委員長 斎藤広巳 副委員長 大塚令昌